

令和5年度（秦野高等学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底）	公務員としての義務を意識させ、法令遵守を徹底させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・職員啓発・点検資料を不祥事防止研修会で活用し、コンプライアンス意識の醸成を図った。 ・通知等を活用し、信用失墜行為を起こさせないよう職員を啓発した。
職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ・マタハラ等）の防止	互いの人権を尊重し、パワハラ、セクハラ、マタハラ等を許さず、ハラスメントをする職員をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会において、職員啓発・点検資料を活用して、人権尊重に対する意識を喚起した。 ・通知等を活用し、朝の打合せや日常的な会話の中で、意識の向上を図った。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりがわいせつ・セクハラ行為の未然防止について当事者意識を持って取り組み、定められたルールを遵守し、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為を行っている職員をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や部活動の状況について、管理職による日常的な巡回を行い、実施状況の把握に努めた。 ・生徒指導において、生徒と教員が対一になることを避け、必ず複数で対応するよう教員に指示した。 ・不祥事防止研修会において、職員啓発・点検資料を活用するとともに、討議を行うことにより、職員の意識向上を図った。
体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導を行い、体罰、不適切な指導をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会において、様々な事例を紹介しながら、体罰、不適切な指導の防止を図った。 ・生徒から誤解を受けるような配慮の欠いた不適切な発言をしないよう管理職から注意を行い、継続的な指導を行った。 ・生徒と面談等を行う際、適切な場所に対応するよう注意喚起した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、生徒の一生を左右しかねない重大な事故につながることを強調し、書類作成の事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者選抜の業務における事故防止のため、臨時職員会議を2度開催し、職員啓発・点検資料を活用して職員の意識向上を図った。今回、入学者選抜の運用が大きく変わったため、事故のない実施に向けて丁寧な確認を心掛けた。また、本校独自の点検作業を継続し、事故防止に向けた体制を強化することができた。 ・不祥事防止研修会で職員啓発・点検資料を活用して定期試験・成績処理の事故防止を図った。 ・日常の個人情報管理を徹底するとともに、定期試験や成績処理前に注意喚起した。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防ぎ、個人情報の流出事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会で職員啓発・点検資料を活用して個人情報の適切な取扱いや情報セキュリティについての事故防止を図った。 ・個人情報の持ち出しを極力抑え、やむを得ず持ち出す際は「個人情報持出許可願い」により、管理職の許可を得て持ち出させることを職員に徹底させた。 ・「神奈川県個人情報保護条例」に基づき、個人情報の適切な管理を行った。
学校備品の管理	学校物品の管理を徹底し、学校備品の紛失等の事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・備品台帳をもとに、全職員が学校物品の保管場所を把握するとともに、定期的に物品の確認を行った。 ・物品の貸出し及び返却について、担当職員の立ち合いのもと、貸出簿により管理の徹底を図った。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を遵守し、交通事故・違反が起きることを未然に防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・不祥事防止研修会で職員啓発・点検資料を活用して、交通法規の遵守を徹底し、事故防止を図った。 ・全職員に対し、交通事故の重大さを認識させ、常に安全運転を心がけるよう指導した。
財務事務等の適正執行	適正な会計処理を行い、私費や公費に係る事故をゼロにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・私費会計マニュアルを作成し、会計担当者に説明する機会を設け、適正な処理ができる体制を確立した。 ・教育振興費、特別教育振興費についてインターネットバンキングの運用を開始し、会計業務の負担軽減と事故防止に努めた。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

不祥事防止研修会については、職員会議の前に毎回開催し、職員の不祥事防止を啓発しつつ、日常において不祥事防止を達成しようと絶えず努めてきた。全職員が不祥事防止への取組を自分事として受け止めることができるよう、不祥事防止研修会における各回のテーマについて、輪番で校務グループの職員による啓発活動を行った。

令和4年度よりこの取組を始めて2年が経過し、職員に定着してきた。令和6年度は若手教員がさらに増えるため、引き続き、一人ひとりの当事者意識を醸成し、不祥事防止に努めていきたい。